

Monthly Repo. ならやま

◆3月28日(木) 小雨 54名

朝から降ったり止んだりの天気、午後は活動中止となった。ベースキャンプ横の桜は五分咲き。

春の風物、初竹の子を期待して竹の子隊が張り切って出発したが残念ながら獲物は1株のみであった。



佐保自然の森では、サンシュユ、ミツバツツジ、コブシ、ユキヤナギが花盛り。

しいたけの菌打ちを終えることができた。

佐保自然の森のフラワーロードへの花苗、球根の植え付けが完了した。

◆4月4日(木) 晴れ 55名+4名

朝一番に4月の人事移動で新しく着任された県の風致景観課長他3名が挨拶に見え、現場の状況を視察された。

活動範囲が広がり、参加者も増えたので、メンバーの活動場所が分かるように掲示板が新たに設置された。

里山グループは、カシナガの被害木の伐採、薪と薪小屋作り。農園グループは



春野菜の栽培に向けて畑の準備が着々と進められた。景観グループは第5地区から粉碎された笹をベースキャンプへ運び込み、土壌改良資材としての利用を図った。

ならやま池でカルガモの番が泳いでいるのが見られた。

パトロール隊の報告では里山林内でミツバツツジ、シハイスミレが満開。

竹の子はぼつぼつ採れ始め、お昼には焼き竹の子を味わうことができた。



◆4月11日(木) うす曇りで少し寒い58名

里山グループは先週に引き続き、カシナガ被害木の伐採、薪割り及び薪小屋づくり。

農園グループはさといも畑の準備、ナバナホウレンソウ畑の後始末、肌のきれいなダイコンを目指して線虫退治にマリーゴールドの播種。



景観グループでは草刈り機の安全点検・指導の後、ベースキャンプ周辺地区の除草。ならやま池ではアオミドロとの格闘が毎週続けられている。ウマノスズクサの支柱となるジャングルジムが仕上がった。

◆4月18日(木) 晴れ、59名+8名

里山グループは薪割り、カシナガ伐採木の処理。農園グループはじゃがいも手入れ、シソの種まき。

景観グループは新人への草刈り機の取り扱い説明と安全講習および実習。池では生物調査、バラタナゴは繁殖期にはいった模様。佐保自然の森のフラワーロードへの球根の追加植え付け。竹の子はピーク?かも。東池横の通路整備が完了。(文責:木村 裕)